

# 採血

## についてのご説明

市立秋田総合病院 臨床検査科

平成26年4月

採血は病気の診断や病状の変化を知る上で欠かすことができない検査の手段です。安全に採血を行うため、採血前後には以下の点にご注意とご協力をお願い致します。

〈採血の部位〉 両腕の肘(ひじ)血管が同じように確認できた場合には、利き腕ではない方の腕から採血します(右利きであれば左腕から採血)。ただし採血部位のご希望があつて、それが医学的・技術的に問題がなければ希望部位を優先します。

〈採血回数〉 1回で全量の採血ができるよう努めておりますが、血管の状態などにより1回で十分な量が採取できない場合は2回行うことをご了承下さい。また、2回行っても採血できなかった場合には採血者を交代致します。

〈採血前に伝えてもらいたいこと〉 以下に当てはまる場合は、お申し出下さい。

- ・消毒用アルコールで赤くなったり、かぶれたことがある方。
- ・採血で気分が悪くなったり冷や汗が出たり、気を失ったことがある方。
- ・その他採血に関してのご希望、ご不安、ご質問のある方。

〈採血中の注意〉 採血中または採血後に次の症状が見られた場合は、お申し出下さい。

- ・手の指先に痛みやしびれなどが走ったり、我慢できないような痛みを感じた時。
- ・気分が悪くなったり、冷や汗が出た時。

〈採血後の止血〉 採血後は、青あざや皮膚の下に血のかたまり(皮下血腫)ができないよう針を刺した場所を少なくとも5分間しっかりと指で押さえてください。血液を固まりにくくするお薬を内服しておられる患者さんは、さらに長めにしっかりと圧迫して頂く必要があります。



### 採血による痛みとしびれについて

神経と血管の位置関係は個人差が非常に大きいため、まれにこれらの神経に針が触れてしまう場合があります。正確な頻度は不明ですが、1万から10万回に1回程度の割合で神経に触れたための症状が見られることがあるとされています。症状としては痛み、しびれ、マヒなどです。これらの症状はまれに半年以上続くことがありますが、大部分は特別な治療をしなくても数週間以内になくなります。ご不明な点、疑問な点などがありましたら遠慮なく担当医師、看護師または臨床検査技師におたずねください。

連絡先電話番号 018-823-4171